



令和元年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。96%の保護者の方にご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

◇保護者アンケート結果一覧

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
確かな学力	お子さんは、安心して、楽しく登校することができていますか。	51.9%	44.6%	2.5%	1.0%
	お子さんは、学習したことを丁寧にノートに書いていますか。	25.4%	47.6%	18.5%	5.6%
	お子さんは、人の話をしっかり聞いて理解できていますか。	18.3%	61.7%	15.8%	3.1%
	お子さんは、学校で勉強している内容がよく分かっていきますか。	18.7%	65.5%	12.1%	2.3%
	お子さんは、自分の思いや考えをすすんで話すごうできていますか。	19.3%	53.7%	23.0%	2.9%
	お子さんは、算数の授業に関心がありますか。	25.0%	52.7%	15.6%	5.2%
	お子さんは、難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか。	15.6%	50.3%	27.0%	5.4%
	お子さんは、すすんで宿題に取り組んでいますか。	29.5%	46.9%	16.8%	6.6%
	お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組んでいますか。	15.6%	34.9%	33.7%	15.0%
豊かな心	お子さんは、場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができていますか。	18.3%	57.2%	20.8%	2.7%
	お子さんは、言葉づかいに気を付けていますか。	15.6%	53.3%	25.0%	5.4%
	学級活動や児童会活動、たてわり(フレンドリー)活動などを通して、子どもの発想を生かした取組が進められていますか。	17.9%	58.2%	6.7%	1.2%
健やかな体	お子さんは、友だちや周りの人と協力して課題を解決できていますか。	19.1%	65.9%	5.6%	1.0%
	お子さんは、人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないように行動できていますか。	46.6%	48.4%	1.7%	0.6%
	お子さんは、安全に気を付けて行動できていますか。	32.0%	59.3%	6.4%	1.5%
小中一貫教育	お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていますか。	40.1%	54.7%	3.3%	1.3%
	学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	23.4%	65.1%	7.3%	1.5%
	京都嵯峨学園の名称について、保護者の方や地域の方に知っていただいていますか。	18.7%	57.1%	13.1%	2.7%
	小中の連携した教育活動として取り組んでいますか。	11.0%	50.2%	16.2%	2.9%
情報発信	京都嵯峨学園は、お子さんに夢や希望がもてる活動ができていますか。	9.3%	49.8%	14.9%	2.1%
	京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていますか。	10.8%	54.7%	17.0%	3.5%

◇児童アンケート結果一覧

	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
確かな学力	学校せいかつはたのしいですか。	60.9%	32.6%	5.1%
	学校でがくしゅうすることはたのしいですか。	52.0%	35.8%	10.3%
	ゆめやもくひょうをもつてがくしゅうできていますか。	54.9%	31.2%	10.5%
	ノートにべんきょうしたことやかかんがえたことをていねいにかいていますか。	48.6%	38.1%	10.9%
	先生やもたちの話をしっかりきくことができていますか。	56.9%	36.2%	5.5%
	学校でのがくしゅうはよくわかりますか。	61.7%	31.4%	5.7%
	しゅぎょうつづいて、すすんで手をあげていますか。	36.7%	29.4%	24.2%
	グループ内でじぶんのかんがえをすすんではなしていますか。	47.0%	33.3%	15.5%
	算数のがくしゅうなどでかかんがえることはたのしいですか。	58.3%	24.6%	12.5%
豊かな心	むずかしいことでも、がんばってちょうせんしていますか。	54.0%	36.1%	6.9%
	しゅくだいは、まい日わずれずにしていますか。	65.7%	24.7%	8.4%
	しゅくだいはべつに、家ですすんでがくしゅうをしていますか。	48.3%	30.8%	14.1%
	学校や家で、じぶんからすすんできもちのよいあいさつや返事をしていますか。	52.6%	34.3%	10.5%
健やかな体	ともだちや家の人がかなくなるような、ひどいことばづかいをしないようにきをつけていますか。	62.7%	30.2%	5.4%
	フレンドリーかつどうは、たのしいですか。	68.1%	21.8%	6.5%
	みんなときよりよくして、いろいろなことにとりくんでいますか。	58.8%	34.0%	6.0%
	人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないようにきをつけていますか。	82.1%	14.3%	2.8%
情報発信	学校や家で、あんぜんにきをつけて行動(こうどう)していますか。	68.9%	25.7%	3.8%
	学校や家での「きまり」をまもっていますか。	57.9%	35.6%	4.7%
情報発信	学校でくばられた手紙やプリントをきちんとお家(うち)の人にみせていますか。	68.2%	22.3%	7.5%

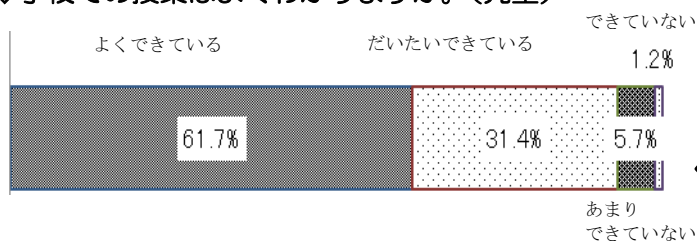
～記述欄より～ お子さんとの関わりの中で、お子さんが「成長した」「変わった」と思われることがあれば、お書きください。

- ◇習った漢字、知っている漢字を本や街で見つけると教えてくれる。(1年生)
- ◇グループで決める時など、思い通りにならなくても文句を言わなくなった。(1年生)
- ◇色んな場面で他者の気持ちを推し量ることができるようになった。(1年生)
- ◇時間を見て行動できるようになった。(1年生)
- ◇自分で考え、行動することが増えてきた。(1年生)
- ◇人前で話すことや自信のないことに対してチャレンジする気持ちが出てきた。(1・4年生)
- ◇6年生の姿を見て「こうなりたい」という想いが芽生えてきた。特に大文字駅伝の本戦出場を決められ休みの日に自主練をするなど自主的に考えて行動できてきた。フレンドリー活動があることで先輩と関わり成長に繋がっている。(4年生)
- ◇友だちの頑張りをを見て自分も頑張ろうと思えたり、友だちが悩む姿を見て心配し一緒に解決策を見出そうとしたりすることもあり、自分のことだけでなく周りの人を大切に想う心が育ってきた。(5年生)

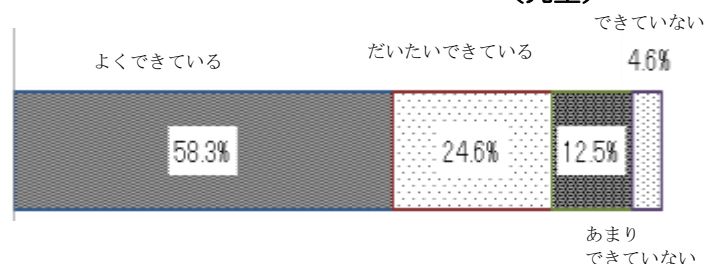
『確かな学力』の育成に向けて

★子どもが主体的に学ぶ楽しさやわかる喜びを味わうことができる取組を目指していきます。

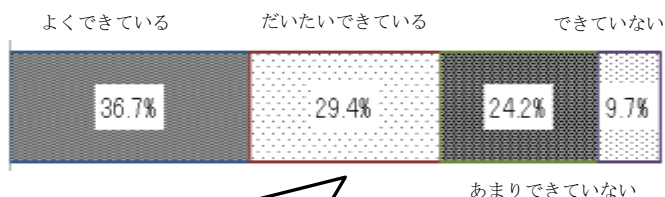
◇学校での授業はよくわかりますか。(児童)



◇算数の学習などで考えることは楽しいですか。(児童)



◇授業中に進んで手をあげていますか。(児童)



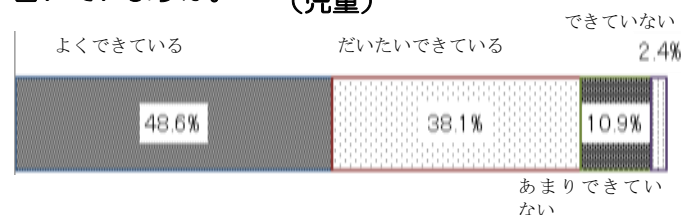
「授業がよくわかる。」「考えることは楽しい。」という子どもたちのアンケートに反して、授業中に手を挙げる子どもたちが約67%と少ないことが気になります。考えたことを伝えることに抵抗がある子・間違いを気にしている子・どう説明していいのかわからない子が多くいるようです。『みんなで考え、話し、交流しながら授業を深めていける』そんな授業ができるよう授業作りから工夫していきたいと思います。

算数科を中心とした研究と並行して、ノート検定やステップアップ学習（自主学習）などの取組を進めてきました。これらの取組を組織的に行うことにより、教員が、授業の進め方・子どもたちへの発問・板書のポイントについてなどの指導力を上げてきています。また、子どもたちからは、これらの取組を通して、ノートの使い方を工夫したり、自分で課題を見つけ、それを追究するような学習に取り組んだりするような姿が見られました。アンケートの結果からも、授業がよくわっている児童は、約92%ととても高く、嵯峨小学校の様々な取組が活かされていると考えられます。

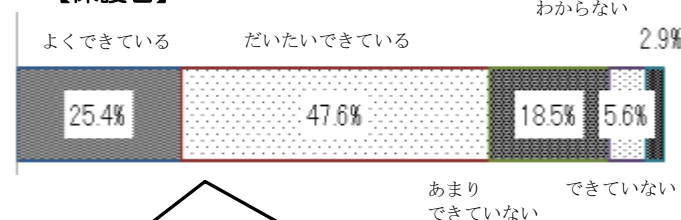


授業中、子どもたちは問題に向かって一生懸命考えます。考えたことを友だちに伝えたり、ノートにまとめたりする力もついてきました。

◇ノートに勉強したことや考えたことをていねいに書いていますか。(児童)



【保護者】



低学年の子どもたちは、発表することに抵抗がなく、どんどん手を挙げています。「発表することが楽しい。」「みんなの前で意見が言えた。」という喜びを味わっています。中学年・高学年になると、「自信をもって発表できた。」「自分の考え、導き出した答えを認めてもらえた。」という喜びが大きいように思います。このような子どもたちの力を伸ばしていきたいです。

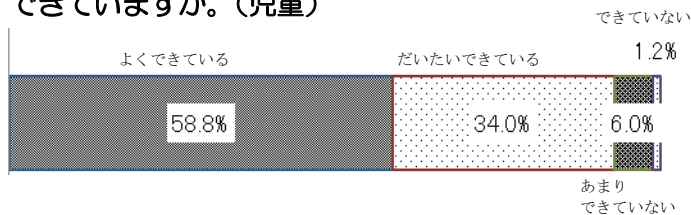
発表には課題があるが、ノート作りに関しては、児童約86%、保護者約73%ができているという結果でした。ノートに自分の考えを図や言葉で書いている児童はたくさんいます。ノートに書いた考えを発表に結び付けていきたいです。



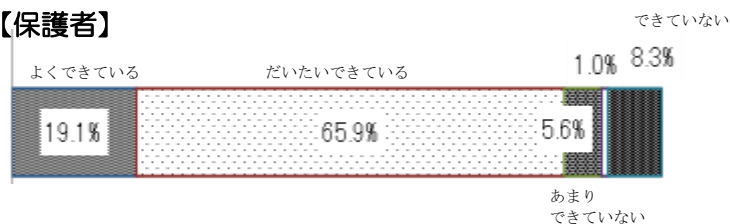
『豊かな心』の育成に向けて

★みんなで協力し、やり遂げたことを次の取組に生かせる子を目指します。

◇友だちや周りの人と協力して課題を解決できていますか。(児童)



【保護者】



「友だちや周りの人と協力して課題を解決できている。」と答えている子どもが約93%いました。子どもたちがどのような活動について「協力できた。」と考えているのか教職員で話し合いました。運動会や学習発表会、宿泊学習などの大きな行事はもちろん、そうじ当番や給食当番、授業中のグループ学習など日常の学校生活の中に協力する場面がたくさんあることに改めて気付きました。

今後も、子どもたちが「協力してやろう。」「協力して課題をやり遂げたら楽しいな。」という気持ちで様々な取組に挑み、力を発揮できるように学習活動・学校行事等を考えていきます。「やらされているのではなく、自分たちでやろう。」という子どもたちの意欲溢れる取組を保護者の皆様にもさらに伝えていきます。

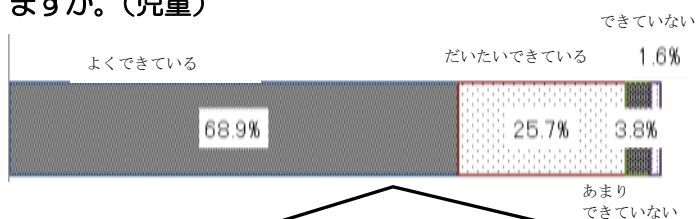
水泳学習が始まる前には、6年生がプールをきれいに掃除します。夏休み明けには、全校で「フレンドリー草引き」があります。みんなで協力することで、自分たちの学校がきれいになり、達成感を味わうことにもつながります。



『健やかな体』の育成に向けて

★危険を予測し、適切な判断と行動ができる子を目指します。

◇学校や家で安全に気を付けて行動していますか。(児童)



地震・火災・不審者等の避難訓練を1年間に数回行っています。毎回、真剣に行ってはいますが、子どもたちも、それほど危機意識を感じずに行っています。「本当に避難するとしたら…」と考えながら訓練できるようにしていく必要があると考えています。

今年度の『地震とそれに伴う火災に対する避難訓練』は、消防分団の方にも来ていただきました。事前に消防分団の方と相談し、教職員に避難経路や地震による危険個所を知らせず実施しました。もしも地震が起こった場合、教職員は、危険個所を確認し、その場で避難経路の判断を下し、子どもたちを素早く安全に誘導しなければいけません。そのような危機意識を教職員がもてるように、また子どもたちにも本当の災害時には一人一人の判断がどれほど大切か考えていけるようにしました。実際行ってみると、様々な課題が見えてきました。このような訓練を今後も行っていき、教職員も子どもたちも、冷静に、より安全な判断ができるようにしていきたいです。

子どもたちのアンケート結果では、「日常生活で安全に行動できている。」と約94%の子が答えています。しかし私たちは、災害が起きた時にも安全な行動がとれる子どもたちを育てていかななくてはなりません。家庭・地域・学校が協力して子どもたちの命を守る教育を進めていきたいです。



『食育』の充実に向けて



★子どもたちの健やかな体づくりを目指して、食の指導を進めています。

学校教育では、子どもたちが自分の体について知ることも、健康な生活について知ることも大事にしています。授業では、保健や家庭科で体の成長や病気、衛生的な生活、バランスのよい食事、調理などを学習しますが、それ以外にも養護教諭や栄養教諭と連携して学習を行うこともあります。養護教諭は、身体測定や様々な検診の際に、子どもたちに体の成長の変化や男女の体の違い、健康に過ごすためにどのようにしたらよいのかなど具体的に子どもたちに伝えています。栄養教諭は、給食時間に各学級を回り、おはしの持ち方や食事のマナー、食材の栄養やおいしさ、旬の食べ物、調理方法などを子どもたちに伝えています。また、毎月発行している『ほけんだより』『いただきます!』でもその時に応じた記事を掲載しています。

今年度第2回目の「学校評価アンケート」の裏面では、保護者の皆様に、子どもたちの食生活について気になることを書いていただきました。子どもたちの食生活を知ることにより、学校での食育に生かしていきたいと考えています。

～記述欄より～ お子さんの食生活に関することで気になることがあれば、お書きください。

【お子さんの食べ方に関して】

- ・食事中に遊んだり、寝転んだりじっと座って食べることができない。食べるのに時間がかかる。(1年生)
- ・口の中に一気に食べ物を入れすぎている。好きな物は早食いになる。(1年生)
- ・給食では苦手な物ががんばって食べているが、家では好きなものしか食べない。野菜・きのこ。(1・4・5年生)
- ・ごはんを残しておかずを先に食べることが多い。(2年生)
- ・自分で自分が食べられる量をなかなか把握できない。(2年生)
- ・噛まずに食べている。口を閉じて咀嚼できない。(3年生)
- ・飲み込むのが苦手で繊維質の物は最終出してしまう。(3年生)

家庭・学校で子どもたちの課題を把握し、改善できるように食に関する指導をしていきたいです。

【給食に関して】

- ・食育日より毎月の給食レシピを持って帰ってきて家でリクエストされ、とても有難い。(1年生)
- ・給食は大好きで家では苦手だった食材も食べられるようになった。(1年生)
- ・給食の魚料理はいつもおいしいと言っている。(1年生)
- ・給食のレシピを再現しますが、給食の方がおいしいと言われる。複雑な気持ちもあるが嬉しく思う。(3年生)
- ・給食を減らさずにしっかり食べてほしい。減らすことを簡単に許容しないでほしい。(1年生)
- ・好き嫌が多く、給食が苦手。偏食。(1・4年生)
- ・和献立の時に、牛乳がなくお茶も飲めない。水分補給が気になる。(4年生)
- ・「もぐもぐタイム」は黙って食べることに集中する時間とのことですが、楽しく食べるために必要なのか。(1年生)



給食時間中には、「もぐもぐタイム」と「なかよしタイム」を設けています。「もぐもぐタイム」では、自分の成長のために時間内に体に必要な量を食べること・食べ物と向き合うことを大切にしています。「なかよしタイム」では、友だちと楽しく食べることを大切にしています。学年が上がっていくと自分で時間や給食の量を見て、楽しくしっかり食べられるようになります。



その他のご意見に関しても教職員で共通理解し、取組を考えていきます。

今後の食育・おたよりに生かしていきたいと思います。

【食育に関して】

- ・お菓子の食べ過ぎ。おやつ＝おかしという認識を変えたい。寝る前に食べる習慣がある。(1・5年生)
- ・肉を食べると脂が多かったら太るなど自分の体型を気にする年齢になってきた。しっかり食べてしっかり運動するというようにしてほしい。(4年生)
- ・食器をもって食べることができない。食事の時の姿勢。食べ方のマナー。三角食べができない。足を組んで食べていることがある。(1・5年生)
- ・成長するために必要な食べ方や量を知りたい。(5年生)



～学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました～

